

事務事業評価シート

事務事業コード	000100	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地区公民館事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

位置づけ の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	社会教育法
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人	運営方法	外部委託
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	地区公民館事業費(生涯学習・スポーツ課)			予算事業コード	01-09-04-06-07-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市に住む子ども
意図 (どのような状態 にするために)	ふるさとを大切にし、強い志を持つ子どもに育てる。
手段 (どうするか)	各地区公民館が取り組む生涯学習事業を通じ、子どもたちのボランティア活動・体験活動等の機会を充実、支援することにより、地域で子どもたちを育てる環境整備を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア活動や体験活動等の機会充実	①「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア活動や体験活動等の機会充実	①「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア活動や体験活動等の機会充実	①「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア活動や体験活動等の機会充実	①「子どもと大人のふれあい事業」の中で、子どものボランティア活動や体験活動等の機会充実	
	年度別実績	①「子どもと大人のふれあい事業」の実施 ・鳥取地域 510件 25,892人 ・新市域 306件 13,312人					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	21,281	0	0	0	0	
	直接経費 A	21,281	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	21,281	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	「子どもと大人のふれあい事業」の増加参加人数(前年度比)	人	目標	500	500	500	500	500	
				実績	750	0	0	0	0	
	(指標の説明) 子どもたちのボランティア活動・体験活動等の機会を増やし、世代間の交流を促す。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】予算事業別概要目次：当初予算・P251(教072)</p> <p>【事業の概要】 委託先：鳥取市公民館連合会 ・地区公民館62館(内分館1館)の事業費 ・4事業に分類わけをして事業を実施している。事業費の配分は基本的に各地区公民館の裁量により設定できる。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">平成26年度</th> <th style="text-align: center;">平成27年度</th> <th style="text-align: center;">平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 子どもと大人のふれあい事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td style="text-align: center;">821件</td> <td style="text-align: center;">819件</td> <td style="text-align: center;">816件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td style="text-align: center;">38,686人</td> <td style="text-align: center;">38,454人</td> <td style="text-align: center;">39,204人</td> </tr> <tr> <td>(2) 特色ある公民館活動事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td style="text-align: center;">1,583件</td> <td style="text-align: center;">470件</td> <td style="text-align: center;">484件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td style="text-align: center;">20,256人</td> <td style="text-align: center;">22,803人</td> <td style="text-align: center;">20,500人</td> </tr> <tr> <td>(3) 地域の仲間作り事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td style="text-align: center;">689件</td> <td style="text-align: center;">706件</td> <td style="text-align: center;">649件</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td style="text-align: center;">17,583人</td> <td style="text-align: center;">19,447人</td> <td style="text-align: center;">19,302人</td> </tr> <tr> <td>(4) 人権啓発推進事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td style="text-align: center;">197件</td> <td style="text-align: center;">201件</td> <td style="text-align: center;">176件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td style="text-align: center;">8,015人</td> <td style="text-align: center;">6,230人</td> <td style="text-align: center;">6,077人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 将来にわたり持続可能な地域づくりのためには、次代を担うひとづくりが重要なものとなる。今後も各地区公民館において、地域の人が集い、学び合い、交流し合う機会を充実させることで、地域で人材を育てる環境整備を図る。</p>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	(1) 子どもと大人のふれあい事業				事業開催数(延)	821件	819件	816件	参加人数(延)	38,686人	38,454人	39,204人	(2) 特色ある公民館活動事業				事業開催数(延)	1,583件	470件	484件	参加人数(延)	20,256人	22,803人	20,500人	(3) 地域の仲間作り事業				事業開催数(延)	689件	706件	649件	参加人数	17,583人	19,447人	19,302人	(4) 人権啓発推進事業				事業開催数(延)	197件	201件	176件	参加人数(延)	8,015人	6,230人	6,077人
		平成26年度	平成27年度	平成28年度																																																	
(1) 子どもと大人のふれあい事業																																																					
事業開催数(延)	821件	819件	816件																																																		
参加人数(延)	38,686人	38,454人	39,204人																																																		
(2) 特色ある公民館活動事業																																																					
事業開催数(延)	1,583件	470件	484件																																																		
参加人数(延)	20,256人	22,803人	20,500人																																																		
(3) 地域の仲間作り事業																																																					
事業開催数(延)	689件	706件	649件																																																		
参加人数	17,583人	19,447人	19,302人																																																		
(4) 人権啓発推進事業																																																					
事業開催数(延)	197件	201件	176件																																																		
参加人数(延)	8,015人	6,230人	6,077人																																																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	「子どもと大人のふれあい事業」の増加参加人数(前年度比)	150%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>各地区公民館で積極的に生涯学習事業を計画し取り組んでもらうことで、地域の生涯学習の拠点及びひとづくりによる地域活性化の拠点として充実を図りたい。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	000200	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て講座事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1101	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人	運営方法	直営
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	子育て講座開設費			予算事業コード	01-09-04-02-12-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校・幼稚園等の保護者
意図 (どのような状態にするために)	家庭の教育力の向上を図るため
手段 (どうするのか)	家庭教育に関する学習機会を提供する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	①保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	①保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	①保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	①保護者に対する家庭教育の重要性を啓発する機会を整備する	
	年度別実績	①子育て・親子講座開催数 小学校 44校 幼稚園・保育園 8園					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,247	0	0	0	0	
	直接経費 A	2,247	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,494	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	753	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	子育て・親子講座開催数	回	目標	50	50	51	52	53	
				実績	52	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P250（教070）</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の補助事業「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」を受けて実施する。（補助率：国1/3 県1/3 市1/3） ・市内の小学校・幼稚園等での「子育て・親育ち講座」を家庭教育支援チームが企画・調整し開設する。[例] 新小学1年生（入学前）のための子育て講座、就学時検診等を活用した子育て親育ち講座、幼児期の子育て親育ち講座] ・講座内容としては、基本的生活習慣、生活能力、豊かな情操、他人への思いやり、善悪の判断など基本的倫理観、社会的マナー、自制心や自立心など「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する上で必要な事項を取り上げて、保護者の家庭での教育力向上を図る。 <p>【事業の成果】</p> <p>H26年度 幼児期講座 7回、小学校入学前講座 44回 H27年度 幼児期講座 6回、小学校入学前講座 44回 H28年度 幼児期講座 8回、小学校入学前講座 44回</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>より内容を充実したものになるよう見直ししながら、今後も基礎的な資質や能力を育成するうえで必要な事項を取り上げ、保護者の家庭での教育力の向上を図る。 保護者同士のつながりを生み、子育てに関する親の孤立を防止する取組を推進する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	子育て・親育ち講座開催数	104%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small></p>	<p><small>今後も基礎的な資質や能力を育成するうえで必要な事項を取り上げ、保護者の家庭での教育力の向上を図るとともに、県などの他機関と連携を図りながら、保護者同士のつながりを深めるなどして、親の孤立を防止する取組を推進する。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	000300	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	高齢者生きがい促進総合事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

位置づけ の 実施 目標 の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の種別			平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人	運営方法	直営
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	高齢者生きがい促進総合事業費			予算事業コード	01-09-04-01-15-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	平成29年度 ①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	平成30年度 ①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	平成31年度 ①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	平成32年度 ①尚徳大学の開催 ②高齢者人材活用事業	
	年度別実績	①尚徳大学 講座開催回数 126回 参加者数 6,794人 ②高齢者人材活用 事業回数 6回 延参加者数 583人					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,705	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,705	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	854	0	0	0	0
一般財源	851	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		尚徳大学受講者の満足度	%	目標	80	85	90	90	90	
			実績	77.4	0	0	0	0		
	(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合									
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		高齢者人材活用事業の市民教授登録者数	人	目標	0	51	66	81	96	
		実績	41	0	0	0	0			
(指標の説明) 登録者数を増やすことで、様々な分野における市民の学ぶ機会を増やす。										
3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P248(教065)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 尚徳大学 ・高齢者の社会参加及び受講生間の交流を促し、生きがいを促進する ・地域で活躍する活力ある高齢者層を創出する</p> <p>2 高齢者人材活用事業 優れた知識、技能を有する地域人材を募り、市民の主体的な学習活動を支える講師あるいは助言者として活用する。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>1 尚徳大学 ・開催講座 合同学習および8つの専門コース(書道・彫刻・絵画・民芸・文芸・社会・健康・郷土) 計126回 ・延べ出席者数 平成26年度 平成27年度 平成28年度 6,692人 6,819人 6,794人</p> <p>2 高齢者人材活用事業 ・登録者数 41人 ・講演会等延べ参加者数 平成26年度 平成27年度 平成28年度 90人 422人 583人</p> <p>【今後の課題・方向性】 尚徳大学は、多種多様な学習ニーズや社会情勢に対応した学習機会づくりを今後検討していく。高齢者人材活用事業は講師登録者募集の強化等について検討していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	尚徳大学受講者の満足度	97%				
	2	高齢者人材活用事業の市民教授登録者数					
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	尚徳大学については計画通り講座を開催した。高齢者人材活用事業については分室・公民館への周知や講師の派遣などを行った。
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	中程度の評価より高い回答をした受講者の割合が前年度より高く、目標値を概ね達成した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>尚徳大学については、多種多様な学習ニーズや社会情勢に対応した学習機会づくりを検討し、高齢者人材活用事業は、講師登録者募集の強化等について検討しながら、継続実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	000400	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	市民大学開設事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	まちづくりの目標		事業期間	全期	
	01	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		根拠法令、 根拠計画等		
1101	豊かな心をもった、たくましいひとづくり					
目標の 実施の 目標の	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人		
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市民大学開設費		予算事業コード	01-09-04-01-16-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①市民大学の開催	平成29年度 ①市民大学の開催	平成30年度 ①市民大学の開催	平成31年度 ①市民大学の開催	平成32年度 ①市民大学の開催	
	年度別実績	①市民大学 講座開催数 30回 延参加者数 693人					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	198	0	0	0	0	
	直接経費 A	198	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	198	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		尚徳大学受講者の満足度	%	目標	80	85	90	90	0	
			実績	77.4	0	0	0	0		
	(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合									
	2	市民大学の延べ参加者数	人	目標	0	800	900	1000	0	
				実績	693	0	0	0	0	
(指標の説明) 年間の延べ人数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

事務事業評価シート

事務事業コード	000500	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	図書館情報管理システム処理事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人	運営方法	直営
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	図書館情報管理システム処理費			予算事業コード	01-09-04-09-06-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	図書館3館、コミュニティセンター図書室6室及び市立病院図書室の利用者情報、所蔵資料に関する情報、予約・貸出状況等の管理
意図 (どのような状態にするために)	図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図る。
手段 (どうするのか)	平成24年度に更新した図書館情報管理システムを適正に運用し、利用者情報、所蔵資料情報等の管理を行い、利用者自身がインターネットから本の予約、予約状況の確認、貸出の延長などを行えるようにするとともに、予約した本が正確・迅速に利用者に貸出せるようにする。また、中央図書館においては、本の自動貸出機、自動返却機の運用により、利用者の利便性の向上を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①図書館コンピュータシステムの効率的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	平成29年度 ①図書館コンピュータシステムの効率的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	平成30年度 ①平成31年2月に図書館コンピュータシステムの更新を行う。	平成31年度 ①図書館コンピュータシステムの効率的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	平成32年度 ①図書館コンピュータシステムの効率的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。		
	年度別実績	①コンピュータシステムによる効率的な運用およびサービス向上 ・図書館3館、図書室6室及び市立病院図書室の一体的運用管理 ・読書記録の提供						
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業費	事業費(A+B)		29,052	0	0	0	0	
	直接経費 A		29,052	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県		0	0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0	0
		その他		65	0	0	0	0
一般財源		28,987	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		セルフ利用率の拡大(中央図書館における自動貸出機・返却機の利用率)	%	目標	45	47	49	51	53	
					実績	46	0	0	0	
	(指標の説明) 情報管理システム処理件数(貸出返却セルフ利用冊数/総貸出返却処理冊数) 基準値は27年度実績									
	2	個人貸出冊数	冊	目標	890000	891000	892000	893000	894000	
						実績	839356	0	0	0
(指標の説明) 情報管理システム処理件数(図書館3館、図書室6室、市立病院で処理した個人貸出の冊数)										
3	インターネット(館内蔵書検索端末を含)による予約の割合	%	目標	66.4	66.5	66.6	66.7	66.8		
					実績	65.1	0	0	0	
(指標の説明) インターネットによる予約の件数/総予約件数(基準値は27年度実績)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【10次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 6 3 (教0 9 5)</p> <p>【事業の概要】 図書館3館、コミュニティセンター図書室6室、市立病院図書室を一体的に管理するため、図書館情報管理システムを運用した。これにより、図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民等に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図った。 また、メンテナンスの範囲でバージョンアップを行い、読書記録を提供するなどサービスの向上を図った。</p>																															
	<table border="0"> <tr> <td>【事業の成果】</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> </tr> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>623,816冊</td> <td>640,534冊</td> <td>656,730冊</td> </tr> <tr> <td>利用者登録数</td> <td>59,851人</td> <td>62,856人</td> <td>65,663人</td> </tr> <tr> <td>個人貸出</td> <td>886,468冊</td> <td>889,184冊</td> <td>839,356冊</td> </tr> <tr> <td>団体貸出</td> <td>99,067冊</td> <td>99,067冊</td> <td>96,017冊</td> </tr> <tr> <td>予約受付</td> <td>136,548件</td> <td>148,042件</td> <td>149,521件</td> </tr> <tr> <td>中央図書館入館者数</td> <td>404,819人</td> <td>394,674人</td> <td>370,482人</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>29,052千円</td> <td>28,963千円</td> <td>28,790千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 保守の範囲でバージョンアップを行い、一層の利便性の向上や効率化を図り、相談業務の時間を創出し利用者とのコミュニケーションの充実を図る。</p>	【事業の成果】	26年度	27年度	28年度	蔵書冊数	623,816冊	640,534冊	656,730冊	利用者登録数	59,851人	62,856人	65,663人	個人貸出	886,468冊	889,184冊	839,356冊	団体貸出	99,067冊	99,067冊	96,017冊	予約受付	136,548件	148,042件	149,521件	中央図書館入館者数	404,819人	394,674人	370,482人	決算額	29,052千円	28,963千円
【事業の成果】	26年度	27年度	28年度																													
蔵書冊数	623,816冊	640,534冊	656,730冊																													
利用者登録数	59,851人	62,856人	65,663人																													
個人貸出	886,468冊	889,184冊	839,356冊																													
団体貸出	99,067冊	99,067冊	96,017冊																													
予約受付	136,548件	148,042件	149,521件																													
中央図書館入館者数	404,819人	394,674人	370,482人																													
決算額	29,052千円	28,963千円	28,790千円																													

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	セルフ利用率の拡大(中央図書館における自動貸出機・返却機の利用率)	102%				
	2	個人貸出冊数	94%	94%			
	3	インターネット(館内蔵書検索端末を含む)による予約の割合	98%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	利用者情報、所蔵資料情報等の管理を行い、利用者の利便性の向上と、効率的な図書館運営を行った。
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	中央図書館のセルフ利用については目標を上回ることができた。個人貸出冊数は目標をわずかに下回ったが概ね達成していると考えられる。全国的にも減少傾向にあり、本市も例外ではない。要因としては人口減、インターネットの普及など社会的な要因があげられる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>図書館情報管理システムは常に進化しており、利用者にも職員にも利便性が高い。保守の範囲でバージョンアップを行い、一層の利便性の向上や、効率化を図ることで相談業務の時間を創出し、利用者とのコミュニケーションの充実を図る。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	000600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域社会教育活動総合事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	図書館法、鳥取市立図書館の 設置及び管理に関する条例
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人	運営方法	直営
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域社会教育活動総合事業費			予算事業コード	01-09-04-09-05-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子どもから大人までの市民等及び読み聞かせ等のボランティア
意図 (どのような状態 にするために)	市民等が本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために、必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るため。また、地域文化の発展に寄与するため。
手段 (どうするのか)	子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、「おはなし会」等の事業の実施をするとともに、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施。 また、一般向け講座の実施。事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①おはなし会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進すとともに、高齢者向けの「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。	おはなし会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進すとともに、高齢者向けの「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。	おはなし会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進すとともに、高齢者向けの「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。	おはなし会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進すとともに、高齢者向けの「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。	おはなし会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進すとともに、高齢者向けの「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。
年度別実績	①読書活動の推進 ?おはなし会、親子を対象にした講座の実施 ?ブックスタート事業支援?読み聞かせボランティア養成講座の実施 ?音読教室一般向け講座の実施?読書通帳の配布?まちライブラリーの設置					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
直接経費の財源内訳	事業費(A+B)	751	0	0	0	0
	直接経費 A	751	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	751	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	おはなし会、各種講座への参加者数(3館)	人	目標	4982
			実績	5433	0	0	0	0
	(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等への参加者数							
2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%	目標	65	65.5	66	66.5	67
			実績	84.2	0	0	0	0
	(指標の説明) 受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率(実施予定含む)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5132</p> <p>【10次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P262（教094）</p> <p>【事業の概要】 読書活動推進のための事業を実施 1 各図書館で毎週「おはなし会」の実施 2 読み聞かせボランティア養成講座の実施 3 文字・活字の日記念講演会の開催 4 まちライブラリー（鳥取駅構内、中央図書館内）の設置</p> <p>【事業の成果】 26年度：830千円、27年度：1,274千円、28年度：751千円、 1 読み聞かせボランティア養成講座の実施により、講座に7割以上参加した人の内、8割以上の人の実践につながった。 2 おはなし会に妊婦やその家族の参加も推奨するなど、子育て支援を行った。 3 まちライブラリーを設置し、様々な場所に本がある空間が増え、本で人がつながるしくみの普及に努めた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 子どもの読書活動を一層推進するためには、本が身近にある環境を手助けする人がいることが重要である。ボランティア養成などの事業の効果を検証し、市民ニーズを取り入れながら必要な事業を企画していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	おはなし会、各種講座への参加者数(3館)	109%				
	2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	130%	130%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	予定していた事業は計画どおり実施するとともに、新規の「まちライブラリー」の設置も多くの本の提供(市民から約200冊)を受けて設置することができた。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	図書館事業への参加者数、ボランティア養成講座参加者の実践に結びついた割合が目標を上回っている。昨年度の実績から目標値を設定したが、次年度に向けては、目標値を見直す必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>子どもの読書活動を一層推進するためには、本が身近にある環境を手助けする人がいることが重要である。ボランティア養成などの事業の効果を検証し、市民ニーズを取り入れながら必要な事業を企画していく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	000700	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	図書購入事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

1. 基本情報

位置づけ の 目標の 実施の 目標の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	図書館法・鳥取市図書館の設置 及び管理に関する条例
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の 実施の 目標の	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	尚徳大学・鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人	運営方法	直営
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	図書購入費		予算事業コード	01-09-04-09-08-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民の利用に供するための図書館の蔵書
意図 (どのような状態 にするために)	市民等が自らが生涯にわたって学び、自己実現を図るとともに、さまざまな課題についても自ら判断できるよう、さまざまな知識や情報を身近な拠点で容易に入手できるようにする。
手段 (どうするのか)	一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。 選書にあたっては、資料収集方針により図書館3館とコミュニティセンター図書室6室でバランスのとれた蔵書構成を図り、限られた財源を有効に活用する。また、市民のリクエストや現代的な課題に関する資料の充実に努める。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。 選書にあたっては、資料収集方針により、バランスのとれた蔵書構成を図る。	①一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。 選書にあたっては、資料収集方針により、バランスのとれた蔵書構成を図る。	①一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。 選書にあたっては、資料収集方針により、バランスのとれた蔵書構成を図る。	①一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。 選書にあたっては、資料収集方針により、バランスのとれた蔵書構成を図る。	①一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。 選書にあたっては、資料収集方針により、バランスのとれた蔵書構成を図る。	
	年度別実績	①参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備した。 18,941冊購入 (内、視聴覚資料119点)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	36,224	0	0	0	0	
	直接経費 A	36,224	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	36,224	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	新規購入図書年間貸出回数	回	目標	9.6	9.7	9.8	9.9	10
				実績	9.1	0	0	0	0
	(指標の説明) 新規購入図書貸出回数(年度内新規購入図書貸出累計÷新規購入図書冊数×2)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【10次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、資料の収集、整理、保存を行う。 具体的には、一般書、児童書などの図書、視聴覚資料、雑誌の購入を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度：37,529千円 20,832冊購入(雑誌除く) 平成27年度：36,170千円 19,362冊購入(〃) 平成28年度：36,234千円 18,941冊購入(〃)</p> <p>【今後の課題・方向性】 1 社会情勢をとらえながら、多様な考え方や新しい情報を豊富に整備する。 2 県立図書館や他の自治体の図書館との連携を行い、サービスの充実を図るとともに、資料のデジタル化や電子書籍の研究、検討を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	新規購入図書年間貸出回数	95%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	利用者のニーズや社会情勢をとらえながら選書を行い、必要な資料を購入、整備を行った。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	購入した図書には、棄損などで買替をしたものも含まれるため、純粋に新刊図書の利用冊数になっていないため。分析については、今後の課題。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 社会情勢をとらえながら、多様な考え方や新しい情報を豊富に整備する。 また、県立図書館や他の自治体の図書館との連携を行い、サービスの充実を図るとともに、資料のデジタル化や電子書籍の研究、検討を行う。		

事務事業評価シート

事務事業コード	000800	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公民館祭開催事業		所属名	企画推進部地域振興局 協働推進課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	昭和57年度 ~ 全期
	政策 施策	01 1101	豊かな心をもった、たくましいひとづくり 生涯学習の推進		根拠法令、 根拠計画等	
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人	運営方法	その他
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	公民館祭開催費(協働推進課)			予算事業コード	01-09-04-06-19-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市内61地区公民館及び1分館を拠点として活動している市民が、丹精込めて制作した作品の数々や練習を重ねた様々な分野の芸能などについて、1年間の成果を発表する場として開催し、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取市公民館連合会が主体となって事業の企画実施を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。) ②芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)	①作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。) ②芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)	①作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。) ②芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)	①作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。) ②芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)	①作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。) ②芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)
事業費	年度別実績	①作品展示会(参加者数1,169人、出品点数2,208点) ②芸能発表会(出演団体数15団体、入場者数465人)				
		区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	575	0	0	0	0
	直接経費 A	575	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	575	0	0	0	0

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	開催期間中の入場者	人	目標	1400
			実績	1169	0	0	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地区公民館係 0857-20-3172</p> <p>【10次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算 (予算事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 市内61地区公民館を拠点として活動する市民が、1年間の成果を発表する場として毎年鳥取市公民館まつり」を実施。平成28年度で35回目を迎える。 地区公民館で活動している市民が丹精込めて制作した作品の数々や、練習を重ねた様々な分野の芸能を来訪者に観賞してもらうことで、公民館活動について理解を深めてもらうとともに、出品者の創作意欲、発表者の練習意欲をいっそう向上させ、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図る。</p> <p>【事業の成果】 1. 委託先 鳥取市公民館まつり実行委員会 (事務局：鳥取市公民館連合会) 2. 事業内容 ・ 作品展示会 (61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。) ・ 芸能発表会 (61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。) 〔作品展示会〕 平成26年度 参加者数 1289人 出品点数 2141点 平成27年度 参加者数 1323人 出品点数 1931点 平成28年度 参加者数 1169人 出品点数 2208点 〔芸能発表会〕 平成26年度 出演者数 145人 入場者数 536人 平成27年度 出演者数 137人 入場者数 351人 平成28年度 出演者数 164人 入場者数 465人</p> <p>【今後の課題・方向性】 公民館を拠点として活動する市民が、1年間の成果を発表する場として、毎年度実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	開催期間中の入場者	84%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>公民館を拠点として活動する市民が、1年間の成果を発表する場として、毎年度実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	000900	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公民館活動事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

1. 基本情報

位置づけ の 位置	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1101	生涯学習の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	尚徳大学、鳥取市民大学の延べ参加者数		7,487人	9,000人	運営方法	直営
	市民1人あたりの図書貸出冊数		4.41冊	5.1冊	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	生涯学習推進事業費(生涯学習・スポーツ課)			予算事業コード	01-09-04-01-07-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	地域に根付いた生涯学習活動を推進するため
手段 (どうするのか)	各コミュニティセンターにおいて生涯学習事業を開催する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①各コミュニティセンターで地域性を活かした各種事業を開催し、地域に根差した生涯学習を推進	①各コミュニティセンターで地域性を活かした各種事業を開催し、地域に根差した生涯学習を推進	①各コミュニティセンターで地域性を活かした各種事業を開催し、地域に根差した生涯学習を推進	①各コミュニティセンターで地域性を活かした各種事業を開催し、地域に根差した生涯学習を推進	①各コミュニティセンターで地域性を活かした各種事業を開催し、地域に根差した生涯学習を推進	①各コミュニティセンターで地域性を活かした各種事業を開催し、地域に根差した生涯学習を推進
事業費	年度別実績	①各コミュニティセンターで、地域性を活かした各種事業を開催					
		<実績> 8センター(各支所) 全41事業を実施					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,358	0	0	0	0	
	直接経費 A	2,358	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,358	0	0	0	0		

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	各コミュニティセンター実施事業参加のべ人数	人	目標	18000
	(指標の説明)		実績	18013	0	0	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】生涯学習係 0857-20-3362</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】予算事業別概要目次：当初予算・P247(教064)</p> <p>【事業の概要】 各コミュニティセンター(旧基幹公民館)で、地域性を活かした各種事業を開催 【国府】高齢者講座(万葉学校)他4事業 【福部】図書推進事業 他3事業 【河原】みたき大学 他12事業 【用瀬】みすみ大学 他7事業 【佐治】ふるさとの歴史講座講師謝金 他2事業 【気高】歴史講座 他1事業 【鹿野】鹿野学講座 他1事業 【青谷】図書室おはなし会 他3事業 その他各種分室主催事業を実施</p> <p>【事業の成果】 各コミュニティセンター(旧基幹公民館)を拠点として生涯学習を推進し、人づくり、地域づくりに寄与した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成28年度から基幹公民館をコミュニティ施設へ移行したことに伴い、基幹公民館が実施してきた事業について分室主催等へ移行して実施している。分室のあり方検討に関連して事務事業の見直しが検討される中、地域における生涯学習の推進施策についても検討を行う必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	各コミュニティセンター実施事業参加のべ人数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>分室のあり方検討を踏まえ、地域における生涯学習の機会と質を確保した上で、他課や地域団体主催事業への移行を検討していく。</small>		